

平成 26 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I・教授
氏名 Name	早稲田 みか
専門分野 Academic Field	ハンガリー語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ハンガリー語における動詞接頭辞の文法化と構文変化
--	--------------------------

ハンガリー語動詞接頭辞の多様な意味機能について、コーパスによる用例収集とその整理および分析を行い、動詞接頭辞の多義性をネットワーク構造として記述することを試みた。具体的には、ハンガリー科学アカデミー言語学研究所の言語コーパス Magyar Nemzeti Szövegtár を利用して、ハンガリー語動詞接頭辞（本年度は特に「～の中へ」の意味を表す動詞接頭辞 be に焦点をあてた）の用法のデータを収集した。

「～の中へ」という基本的な意味をもつ接頭辞 -be にも、中への移動による空間変化（へっこむ、閉じる、満たされる、おおう）から、空間変化の完了（完全に～する、最後まで～する）といった拡張された意味があることが確認できた。

また、-be は歴史的にみると、使用頻度も低く、完了アスペクトをあらわす機能への文法化の程度も低いことがわかっているが、最近の現象として、とりわけ若者ことばにおいて、使用域が広がっていることが観察された。新たな使用例において、-be は完了アスペクトや、微妙なニュアンスを表したり、場合によっては、まったく異なる新しい意味を生成する事例もあり、派生辞としての動詞接頭辞の生産性について検討する必要があることがわかった。